

生かしたい思いを表わしましょう！

東日本大震災に伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故により、同発電所から半径 20 キロ圏内が警戒区域に設定され、家畜の他、様々な飼育動物が取り残されました。今まで飼育動物として飼われてきた動物は、野生に帰すにしても、時間と場所と人の手と豊富な水・餌が必要です。それらを一切与えずに、管理すること自体を放棄させた事故後の政府の対応により、多くが悲惨な状態で餓死し、生き残っている命でも飢餓や不衛生な環境に苦しんでいます。冬季には全滅も危ぶまれる状況にあります。

政府は、同区域の家畜を殺処分する方針を 4 月 24 日に出しましたが、これに同意した蓄主は全体の約3分の1にとどまっていた。殺すことしかできないのは、先進国としてあるまじき、チェルノブイリ以下の対応だと国内外からの批判も集まりました。そして、7 月 8 日に菅総理は、生かすための牧場構想について、「動物愛護と学術研究の観点から重要な提案だ」と生かすことも認める答弁をしました。具体的に用地を用意し、費用を捻出する計画があれば、生かすことが認められるのです。

財産であり愛着もある生き物を生かしたい農家さんのお気持ちを守るため、また、動物倫理・福祉の観点から、家畜たちを保護し、管理・飼育するための環境や施設を整えることで、「いのち」を生かしたいと強く思います。皆さん、諦める前に、後一度だけ声をあげてください。

私たちは、家畜を、人に被害を与えない形で、
「生かす」ことを求めます。

お名前	ご住所	農家の方は○を書いて下さい。

※ご記入いただいたお名前や住所などの個人情報は、この要請目的以外には使用しないことを誓います。

主な取り扱い団体：家畜おたすけ隊

電話番号：080-4215-7801

Eメール：helpcow@gmail.com

ご郵送先：〒153-0044 東京都目黒区大橋
1-10-1-103 目黒大橋郵便局留め
谷 映月宛て

この署名は 2011 年 8 月から農家さん自身が立ち上がり、署名運動をしたいということでスタートいたしました。皆さまから頂いた署名は、1000 通集まった時点で第 1 回分としてまとめられ、農家さん（と議員）によってメディアの前で政府に提出されます。